

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公表番号】特表 2007-504812 (P2007-504812A)

【公表日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-009

【出願番号】特願 2006-525744 (P2006-525744)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/36 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 7/04

A 6 1 K 37/02

C 0 7 K 16/36 Z N A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 26 日 (2007.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 I X 因子 / 第 I X a 因子に結合可能であって F I X a の凝血促進活性を増大させることが可能な、配列番号：1～8 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、抗体。

【請求項 2】

前記抗体が少なくとも一種の相補性決定領域 (C D R) を含み、その少なくとも一種の C D R が配列番号：3～8 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 3】

前記抗体が 4 種のフレームワーク領域内に組込まれた少なくとも 3 種の C D R (C D R

1、C D R 2 および C D R 3) を含み、該少なくとも 3 種の C D R のうちの一種以上が配列番号：3～8 に挙げられるようなアミノ酸配列を含む、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 4】

前記抗体が 1 個以上の C D R 3 を含み、各 C D R 3 が配列番号：5～8 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 3 に記載の抗体。

【請求項 5】

前記 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 の各々が、配列番号：3～5 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 3 に記載の抗体。

【請求項 6】

前記 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 の各々が、配列番号：6～8 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 3 に記載の抗体。

【請求項 7】

前記抗体が配列番号：1～2 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 8】

前記抗体が配列番号：1～2 に挙げられる両方のアミノ酸配列を含む、請求項 7 に記載の抗体。

【請求項 9】

前記抗体が I g G 抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 10】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 11】

前記抗体が抗体フラグメントである、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 12】

前記抗体が組換え抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 13】

前記抗体が単鎖抗体である、請求項 12 に記載の抗体。

【請求項 14】

前記抗体がヒト化抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 15】

前記抗体が標識されている、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 16】

請求項 1 に記載の抗体を発現する細胞。

【請求項 17】

前記抗体が少なくとも 1 種の相補性決定領域 (C D R) を含み、該少なくとも 1 種の C D R が配列番号：3～8 に挙げられる少なくとも 1 種のアミノ酸配列を含む、請求項 16 に記載の細胞。

【請求項 18】

請求項 1 に記載の抗体をコードする核酸。

【請求項 19】

前記抗体が少なくとも 1 種の相補性決定領域 (C D R) を含み、該少なくとも 1 種の C D R が配列番号：3～8 に挙げられる少なくとも 1 種のアミノ酸配列を含む、請求項 18 に記載の核酸。

【請求項 20】

請求項 16 に記載の細胞を培養する工程を包含する、第 I X / I X a 因子に結合可能な抗体を作製する方法。

【請求項 21】

請求項 18 に記載の核酸を細胞内で発現させる工程を包含する、第 I X / I X a 因子に結合可能な抗体を作製する方法。

【請求項 22】

請求項 1 に記載の抗体ならびに薬学的に受容可能なキャリアおよび / または希釈剤を含む、薬学的組成物。

【請求項 2 3】

前記抗体が少なくとも一種の相補性決定領域 (C D R) を含み、該少なくとも一種の C D R が配列番号 : 3 ~ 8 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項 2 2 に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 4】

前記薬学的組成物が、さらに第 I X 因子、第 I X a 因子、第 I X a 因子および / または第 I X 因子を含む、請求項 2 3 に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 5】

薬学的に有効な量の請求項 1 に記載の抗体を含有する、血液凝固障害を罹患する患者を処置するための組成物。

【請求項 2 6】

前記抗体が少なくとも一種の相補性決定領域 (C D R) を含み、該少なくとも一種の C D R が配列番号 : 3 ~ 8 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項 2 5 に記載の組成物。

【請求項 2 7】

前記血液凝固障害が、血友病 A または出血性体質である、請求項 2 6 に記載の組成物。